

出藍の誉れ

<学校の教育目標>

自立共生

自ら 仲間と共に よりよく

2年生がふれあい教室で

阿納ブルーパークに行ってきました

5月27日(月)～28日(火)に1泊2日で福井県小浜市にある阿納ブルーパークに行ってきました。阿納地区には民宿が十数件ほどあり、民宿の方が共同でブルーパーク阿納という施設を運営しています。ここでは、シーカヤックをしたり、漁船クルージングをしたり、魚釣りをしたり、釣った魚をさばいて刺身や焼き魚して食べたりすることができます。普段体験することができない海での生活を思いっきり楽しむことができました。



ふれ教後の振り返りの作文を紹介します。

2年2組 後藤 朱理

民宿に来たお客さんを喜ばせる、満足させるためにどんなことをすればいいとか考えながら、仕事をしているそうです。お客さんに「美味しかったです」とか「ありがとう」などを言われると、もっと頑張ろうとかやる気も、やりがいになる。この民宿の設備を保つためや、来客数を維持するためにはお金が必要だし、楽しんでもうかることは何もないから、一生懸命毎日働くことが大切。客商売はプレッシャーがかかり、ストレスもかかり、苦労も多いが、何事もやってみることが大事ということがわかった。

2年1組 佐藤 由奈

今までも意識してきた「全員」はこれからも必ず意識していきたいし、ねらいの「行事＝日常＝行事」は、ふれ教が終わった後も大切にしていけるべきだと思った。理由はふれ教前にやっていたキャンペーンのあいさつをそろえる活動をしていて、民宿を出るときや退村式のお礼を言う場面では、礼の角度を意識してあいさつをすることができて、「行事＝日常＝行事」を実感することができた。

これからはスポ祭に向けて、さらに一体感を創ることが大切になってくるから、一人一人が「全員」を意識し、時間を見て余裕を持って行動できるように、今もやっているリーダーを中心とした声かけやタイマーなどを見て、スポ祭の事前取組は委員も声かけをして、その指示を周りの人は聞いて行動していくと、よりよいクラスになると思う。





2年3組 古谷 政宗
 2年生のふれあい教室を終えて、自然を感じることに、職業について知ること、どのように思いをもっているか、仲間との一体感を作り楽しむこと、そして、普段の生活にも一体感を大事にして仲間と関わり、将来のことを考えるときには、民宿で聞いたこと、自分で見て考えたことなどを生かして、将来のことを考えていきたい。
 全員が協力し、全員が目標をもてるようなクラスにしたいです。



2年1組 玉井 湊翔
 漁村の人に話を聞いたり、漁村の人たちと体験したりすることを通して、一人一人が協力していることを知りました。民宿の人と語る会でも話されましたが、「横のつながり・みんなで協力」ということを何よりこの地域で大切にしていることがわかりました。
 このことは、日常から生かせることだと思いました。学級だけでなく、学年でつながったりすることできるようにしていきたいです。

2年2組 森川 莉乃
 めざしたクラスの姿は、誰もが仲間に声をかけられて、自ら行動であらわれているクラスです。自分だけではなく、仲間を大切にできるようなクラスにしたいからです。そのために、まずは一人一人が行動できるようにしていき、周りを見ることができるようになることが大切だと思いました。

